開明PTA新聞

【第50号】
開明中学校・高等学校
電話／06-6932-4461
発行責任者
PTA広報委員会

卒業生へ Messages 卒業おめでとう

3年A組担任

奥野 誠太

卒業おめでとう!

ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした6年間は私にとってもかけがえのないものになりました。私はクラスでも部活でも「誰もが応援したくなる存在」になってほしいと願いながら過ごしてきました。卒業後の皆さんがたくさんの人に応援されながら自分の夢を叶え、社会に貢献されることを強く願っています。

3年B組担任
学年副主任

吉賀 周二

努力の人生を歩んで欲しい

努力とは、自分に挑戦し続ける行動であり、その意志の強さである。

失敗することよりも挑戦しないことの方が、人生にとって大きな損失になると気付ける人は、努力を続けられる人であり、成長を続けられる人です。皆さん自身が本物であるかどうかが、いよいよ試される時が来ました。

さぁ、ここから本番です。

卒業おめでとうございます。

3年B組副担任

丹羽 務

幸せは、若さや健康と同じように、失って初めてその尊さに気づくものです。日々の不平不満より、今手にしている幸せを見つめ、その一つ一つに感謝しましょう。その心が、未来を輝かせ、人生を豊かにしてくれるはずです。

3年A組副担任

置田 卓三

ご卒業おめでとうございます。

これからの先の長い人生は決して、楽しいことばかりではありません。辛いことも、苦しいことも持ち前のバイタリティで笑顔を忘れず、乗り越えて下さい。

「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ、行けばわかるさ。」健闘を祈っています。

そして、最後にありがとう!

3年B組副担任

松田 章

卒業おめでとうございます。

開明での生活を通して身につけたことは、社会に出ていく皆さんにとって大きな力になります。自分の力を信じて、どんな壁も乗り越えていってください。

皆さんのこれからの活躍を期待しています。

新しい出発にあたって

世界は変わり続けます。人類は人跡未踏の領域にどんどん進みます。一方で、新たな火種が争いを生み出し続けます。希望もあるけれど、自然・科学・社会・政治・経済…、世界は揺れ、課題は山積みです。そんな世界をこれから皆さんは歩みます。

これまで以上に逞しくかつしなやかに成長し、活躍してくれることを切に願います。

3年C組担任

中野 直也

3年C組副担任

伊藤 さつき

学ぶことは終わりのないゲームのようだ。やってこそ出現する隠し扉もある。だから来年の私は数学力はもちろんのこと今より更にレベルアップしている。

皆さんも無制限したい放題の世界へ、さあ、いってらっしゃ～い。

開明大学に参加しませんか？

卒業生有志による企画メンバー募集中！

6年間ありがとう!

ご卒業おめでとうございます。

皆さんと6年間を共に過ごすことができたことを誇りに思います。ありがとう。これからもそれぞれの立場で人生のステージを前へ進めていきましょう。学び続けながら努力を継続し、自分の近くにいる人の話をきちんと聞き、時間を大切にして下さい。その姿が周りの人へと映り、自分自身の評価に繋がっていくのだと私は信じています。新しき門出に幸多かれと祈ります。

3年E組担任
学年主任

森 公亮

3年D組担任

野村 昌史

かけがえのない財産

卒業おめでとうございます。

皆さんはこの学校生活の中で、心から笑えた時もあれば、必死に汗をかき、時には涙を流したこともあったかと思います。それら全ての経験は皆さんのかけがえのない財産になります。人は笑った数だけ幸せになり、流した汗の数だけ成長し、涙の数だけ優しくなれるのだと思います。これからもたくさん笑って、誰かのためにたくさんの汗と涙を流せるような人になってください。

3年F組担任

竹村 和也

学びを止めるな

ご卒業おめでとうございます。

これからそれぞれの道に進むことになるでしょうが、大学に合格することはゴールではない。

これから先もゴールだと勘違いする瞬間があるかもしれない。

それは間違いなくスタート地点。努力して手に入れたものの先には必ず次のステージがあるということ忘れないでください。

3年F組副担任

中村 祥久

卒業おめでとう！

科学技術が発展した現在でも、まだまだ分からないことがたくさんあります。みなさんも進学したら、それぞれの分野で世の中の不可能なことを可能に(breakthrough)して下さい。

ご卒業おめでとうございます。

自分の信じている想い、使っている言葉が自分の現実の世界となります。いつもどんな時も、幸せなこと・感謝できることに目を向け、明るい想念と美しい言葉で豊かに生きてくださいね。皆さんの幸せを祈っています。

3年D組副担任

濵野 恵美

3年E組副担任

水上 誠

哲学者サルトルは、「実存は本質に先立つ」と述べ、人間は自らつくるところ以外の何ものでもない、としています。皆さんが今後、それぞれの道を歩む中で「自分」という人間を作っていくことを期待しています。

3年A組・F組副担任

中井 正樹

ご卒業おめでとうございます。

これから様々なことを自身で決める時、自分の信念を正しく持って決断し、持続的な努力を行い、行動することが大切です。

日々成長するために『苟日新、日日新、又日新』を贈ります。

18歳成人となる卒業生の皆さんへ

学校長　**林　佳孝**

卒業おめでとう。皆さんが高校を卒業し18歳成人となる今日とはどんな時代だろうか。ＳＮＳ上では過激な情報や単純で極端な情報が飛び交い、時には偽りや誤った情報が拡散され、人々の意識を短時間で特定の方向へ向かわせる危うさを、私たちはこの間、目の当たりにした。人々の不満と鬱憤は世界中のあちこちで自国第一主義やポピュリズムを台頭させ、力による威嚇は緊張を高め、武力衝突と報復の連鎖は人々の生活や命を日々脅かし続けるが、国際社会はその解決策を見い出せずにいる。人々の生活を豊かにし幸福をもたらすはずの科学技術の進歩も分断の道具にされかねない。卒業生の皆さんには、常に学ぶ姿勢を持ち続け、真実を見極める目と課題に柔軟に取り組む意思と能力を身につけてもらいたい。

卒業おめでとうございます

高3担当教頭　進路指導部長　**重康　学**

今年度講演会にお招きしてみなさんとお話を伺ったお二人の言葉に強く印象に残るものがありました。世界的に著名なゲノム医学研究者である中村祐輔先生からは「人間は多様であり、他人を思いやる気持ちが最も大切である」というメッセージをいただきました。

またジャーナリストの西谷文和先生は、中東の戦場の映像や現地での取材を紹介され「戦争はフェイクから始まり、止めるには相手を正しく理解し対話を重ねる努力の他ない」と訴えられました。経歴や仕事の異なるお二人が同様のお話しをされたのは偶然ではないでしょう。卒業するみなさんもこのことを心にとめて、更なる歩みを進めてほしいと願っています。

卒業おめでとうございます

高1・高2担当教頭　**川嵜　徹雄**

3年前の高校入学式の日、皆さんに「『何をもって覚えられたいか。』を考えてください。」という話をしました。これは、「自分がクラスや学校、社会にどんな貢献ができるかを考え、行動に移してください。」というお願いでもありました。どうだったでしょうか。もちろん答えに不正解はありません。

ただ、自分自身にこの問いかけをし、答えを出すことは、今以上に進学してから、また社会に出てからこそ、より重要な意味をもちます。逆にこの問いにいつまでも答えられないでいるのは、少し寂しくはないでしょうか。

どんなに忙しくても、辛いことがあっても本を読み、判断力を磨き続けること、人生を楽しむことを忘れないでください。卒業後こそ『研精而不倦』前向きに進んでください。

学びを止めるな

中学校教頭　**竹森　順一**

ご卒業おめでとうございます。卒業という節目の日を迎えたわけですが、今日で君たちの学びが終わるわけではありません。脳が個性豊かに育ち始めるのは30歳からで、80歳・90歳を過ぎても脳は成長し続けていくのだそうです。今の君たちは、脳の発達でいえばまだまだ基本的な機能の充実を図っている段階であり、運動が得意、理科系に強いなど、多少の差があるくらいで、その人らしい個性はまだ輝いていないのです。これからの個々の経験が脳を成長させ、その人ならではの能力を育んでいくのです。

これからも知的好奇心を持ちながら、大いに学んでください。そして、学んだ者にしかわからない幸せを感じながら生きてほしいと思います。

志高く、いつまでも

中学3年学年主任　**金光　清太郎**

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこの学び舎での中学校生活を駆け抜けました。その努力と成長は、私たち教職員にとっても大きな誇りです。「高い志」を掲げ、「情熱（Ｐａｓｓｉｏｎ）」を持って何事にも全力で取り組む皆さんの姿勢は、これからの高校生活においても大きな力となるでしょう。

新たなステージに進む中でも、これまで築いてきた仲間との絆や努力の積み重ねを大切にしてください。そして、さらに高みを目指して挑戦し続けてください。皆さんのこれからの高校生活が実り多いものとなることを心から願っています。

ＰＴＡ会長あいさつ【1年を振り返って】

本年度のＰＴＡ活動を無事に終えることができました。この1年間、保護者の皆さま、先生方、そしてＰＴＡ役員・委員の皆さまのお力添えをいただき、活動を円滑に進めることができましたことに、心より感謝申し上げます。

また、１１０周年という節目の年に、ＰＴＡ会長という大役を任せていただきましたこと、改めて感謝いたします。振り返れば、困難や課題に直面する場面も少なくありませんでしたが、そのたびにＰＴＡ役員の皆さまや保護者の皆さまが知恵を出し合い、力を合わせて乗り越えてくださったことに、深い感謝の気持ちでいっぱいです。特に、お忙しい中で活動にご協力いただいた保護者の皆さまには、改めて心より御礼申し上げます。1年間を通じて改めて実感したのは、子どもたちの成長や笑顔が私たちの活動の原動力であるということです。そして、子どもたちを支えるためには、保護者と学校が一体となり連携することの大切さを深く感じました。

最後に、これまでの活動が未来の子どもたちの力となることを願うとともに、今後のＰＴＡのさらなる発展を心から祈っています。この1年間、ご尽力いただいたすべての皆さまに、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

（ＰＴＡ会長　登尾　康弘）

中学体育大会

10月12日(土)昨年までの清滝グラウンドから変更され、京セラドーム大阪にて、中学校の体育大会が執り行われました。

初めてのドームでの体育大会、大きな室内グラウンド、リアルタイムでの大型スクリーンで映像配信、親も子も期待が高まっていました。

子どもたちは、個人走、各種リレー、大縄跳びや障害物走、綱引き等、クラス一丸となって練習の成果を発揮していました。真剣に取り組み、応援する姿に胸が熱くなりました。

三年生女子の合同体操は、大型スクリーンに映し出されるハートなどの隊形移動も美しく、一生懸命に練習してきたことが分かる、見応え充分の迫力のある演技でした。

お忙しいところ、体育大会を開催して下さり、また終始スムーズに進めてくださった先生方に感謝申し上げます。

（広報委員　中1班）

笑顔咲く　開明文化祭

9月8日(日)残暑の続くなか、文化祭が開催されました。開門と同時に多くの方々が来校され、校庭では生徒たちによるオープニングダンスがあり、スタートから活気に満ちた雰囲気が感じられました。

今年のテーマ「ＣＨＥＥＲＳ！」は「乾杯」や「ありがとう」といった意味を持ち、感謝の気持ちを伝えるひとつの機会として、来校された方々に楽しんでもらうための様々な企画がありました。

ＰＴＡではバザーや制服リサイクル品販売のほか、開明せんべい・どら焼きの販売、食べ物販売、さらに卒業生ブースの運営を行いました。各ブースにたくさんの方が足を運んでくださり、大盛況のうちに幕を閉じました。

バザー品や制服等をご提供いただいた皆様、ご協力くださりありがとうございました。そして開催に向けてご尽力いただきました委員の皆様、先生方、学校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

皆様のおかげで笑顔あふれる素晴らしい文化祭となりました。また来年に繋げていけるよう活動してまいりますので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（ＰＴＡ副会長　有地　雅代・石井　晴美）

進路対策講演会ご報告

7月6日(土)体育館にて、進路対策講演会を開催いたしました。第一部は、毎年大好評の卒業生と教諭によるトークセッションです。受験を終えた卒業生の皆さんの本音トークより、子どもを信じてあたたかく見守り応援し続けることの大切さを知り、親子の関わり方について意識を変えるきっかけとなりました。

第二部は、ベネッセコーポレーション・近畿地区6年制私立高校担当である小林建斗氏をお招きし、「これからの大学受験を迎えるにあたって－２０２５年度入試とその後－」と題してご講演いただきました。新教育課程や推薦入試についての実際のデータや具体的な内容をご説明いただき、開明高校のデータをもとにしたお話は大変わかりやすく、希望進路の実現に向けて、高い志望にこだわることや日々の学習の積み重ねが必要であると多くを学ぶことができました。

講演会開催にあたり、ご協力いただいた先生方、卒業生の皆様、そしてご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

（進路対策委員長　金谷　久美子）

心と体を整えるピラティス ～心も体も健康にhappyに！～

9月21日(土)剣道場にてピラティス講師のＭＥＧＵＭＩ先生をお招きし、「心と体を整えるピラティス ～心も体も健康にハッピーに！～」をテーマに講習会を開催しました。当日は約80名が参加し、それぞれのお悩みに合わせたピラティスの動きを実践しました。ＭＥＧＵＭＩ先生の明るく和やかな雰囲気のもと、心と体を整え、リフレッシュできる有意義な時間となりました。参加者からは、「普段使わない筋肉を使えてよかった」「腰痛が軽くなった」「自分の体と向き合えた気がする」など、スッキリした気持ちになれたとの声が多数寄せられました。ご参加くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

（健康推進委員長　三宮　美佳）

親睦の一日 ～学年をこえて～

11月8日(金)好天に恵まれた２０２４年のＰＴＡ社会見学では午前に参拝、ホテルのバンケットホールでランチ、午後に醤油蔵を見学しました。和歌浦天満宮と紀州東照宮では50段、１００余段の昇り降りで身体を動かし、境内での悠然としたひと時を味わいました。ランチではふっくらとグリルされた太刀魚や牛フィレのソテーなどをフレンチの美味しいソースでいただき、湯浅醤油では醸造の伝統に親しみました。バス乗降の度に乗車チェックをお願いするのですが、皆さんリストのお名前の位置を覚えて教えていただくなど、終始企画委員にご協力いただきとても有難かったです。同学年はより深く、また学年をこえた親睦の旅となりました。醤油ソフトクリームはおすすめです！

（企画委員長　戸谷　綾）

文化教養委員会講演会 2024

12月14日(土)文化教養委員会主催の講演会を開催しました。講師に心理学の専門家である桧谷真美先生をお迎えし、『子どものこころ、親のこころ』をテーマにお話しいただきました。講演では、子どもの発達段階や昨今の子どもたちが抱える問題について具体例を交えた解説がありました。また、思春期の子どもたちの態度をどのように理解し、親としてどのようにサポートするべきか、さらに親が抱える不安と向き合う方法についても実践的なアドバイスをいただきました。参加者からは「子どもとの接し方を見直すきっかけになった」「親自身の気持ちも整理できた」との感想が多く寄せられ、充実した内容の講演会となりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

（文化教養委員長　西村恵子）

みんなで食べる年越しそば

開明高校3年生は、共通テスト目前の冬休みも返上し、毎日学校へ通っています。ＰＴＡ高校３年学級委員は、日々奮闘する子どもたちに、温かいもので少しでもリフレッシュしてもらおうと、大晦日のお昼に年越しそばを振る舞いました。事前にそばかうどんの希望アンケートをとり、当日はカップ麺に入れるお湯を次々と沸かし運びました。開明会の卒業生からは、カイロのプレゼントと激励を。またポットからお湯を注ぐお手伝いもしてもらいました。子どもたちは、みんなと食べる年越しそばを楽しみにしていたようで、束の間の癒しとなったことでしょう。本番までラストスパート、自信を持って最後まで駆け抜けてください！応援しています！

（ＰＴＡ役員　増本智子）

卒業生保護者の会

開明会

Kaimeikai

開明会は卒業生保護者として卒業生が活動する行事（開明大学、二十歳を祝う会、文化祭、受験生激励年越しそば等）の後ろだてとなり、その活動を通して在学中からのご縁を繋げております。

詳しくはこちらから

編集後記

このたび、第50号のPTA新聞を無事に発行することができました。これもひとえに、保護者の皆さま、先生方、そして関係者の皆さまからの温かいご支援とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。この1年間、広報委員として学校行事やさまざまなPTA活動に携わる中で、多くの学びや貴重な出会いを経験しました。これらの活動の中で感じたことや気づきが、新聞を通じて少しでも皆さまに伝わり、共有できれば幸いです。これからもPTA活動が皆さまにとってより身近で楽しいものになるよう、さらなる工夫を重ねてまいります。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員一同